TOTO

取扱説明書

ワンダービート

TBH19JC型・THC10型・THC14型

■このたびは、TOTOシャワーヘッドをお求めいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください。)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

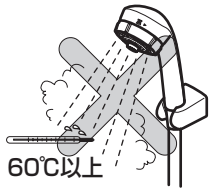
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
●この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。

表示	意味
⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

⚠警　告

禁止

シャワーヘッドには熱湯(60℃以上)を通さない
シャワーヘッドが破損して、やけど・けがをするおそれがあります。
シャワーを浴びる場合は、安全のため45℃以下の適温でご使用ください。



2ハンドル・シングルレバー混合栓とセットで使用する場合、給湯機の給湯温度は42℃より高温で使用しない
やけどをするおそれがあります。

必ず実行

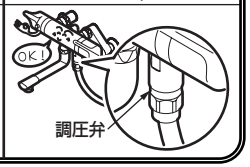
吐水状態を切り替えた場合、必ず手で適温であることを確かめる
やけどをするおそれがあります。吐水状態の切り替えを行ったときに、温度が高くなることがありますのでご注意ください。

⚠注　意

禁止

顔には、マッサージ吐水をしない
直接、目や耳などに当たるとけがをするおそれがあります。

クリックタイプに接続されている調圧弁は外さない
調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

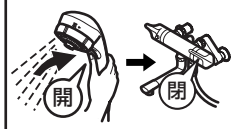


⚠注　意

必ず実行

給水圧が高い地域でマッサージ吐水を使用するときは、確実に手などで支持して使用する
床に置いたシャワーヘッドが暴れたり、シャワーハンガーから落下してけがをするおそれがあります。

クリックタイプの使用後は、必ずシャワーから水を出した状態にして水栓の切替ハンドルで水を止める
シャワー開閉ボタンにて、長時間水を止めた場合、シャワー散水板から水漏れするおそれがあります。



豆知識

ワンダービートの注意事項

●吐水を切り替えてもマッサージ吐水にならない場合は、シャワー本体を軽く振ってください。

●水を止めた状態ではノズルが動き音がします。
構造上前後に動くのが正常です。
故障ではありません。

●シャワーヘッドは、ぶつけたり、落としたりしないでください。
シャワーヘッドの内部には機能部品が搭載されています。
落下などにより衝撃を受けると破損し、機能に障害をきたすおそれがあります。

●瞬間式給湯機の場合、給水温度の高い夏場において、吐水量を少なくして使うと給湯機が着火しないことがあります。
この場合には、給湯機の設定温度を下げてお使いください。

●給水圧が0.2MPa以上の地域では、水栓の切替ハンドルを全開にしたときにマッサージ吐水の水勢が強すぎることがあります。
その場合は、あらかじめ止水栓で水勢の調節を行ってください。

商品のお問い合わせは

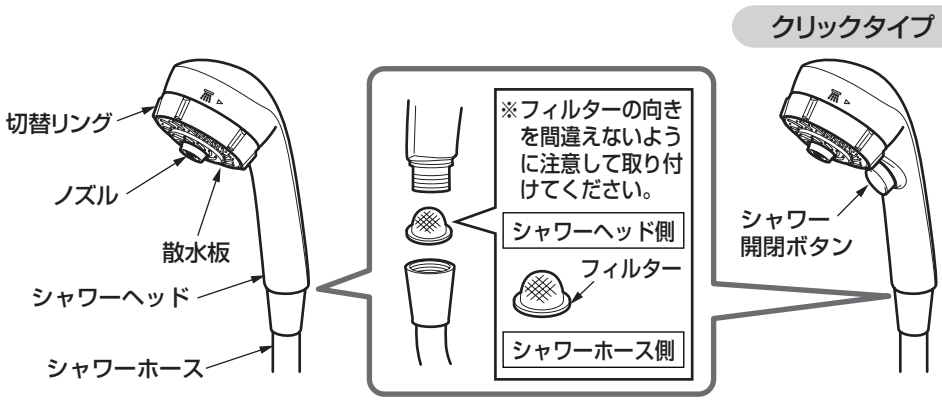
TOTO(株)お客様相談室へ
TEL 0120−03−1010
FAX 0120−09−1010
受付時間：平日　9：00〜18：00
土・日・祝日　10：00〜18：00
(夏期休暇・年末年始を除く)
※携帯電話・PHSからのご利用は……
093-951-2526 (有料)へ

修理のご用命は

TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ
TEL 0120−1010−05
FAX 0120−1010−02
受付(年中無休)
受付時間：関東・甲信越地区　8：00〜20：00
上記以外の地区　9：00〜20：00
訪問修理(年中無休：一部地域を除く)
営業時間：　9：00〜18：00

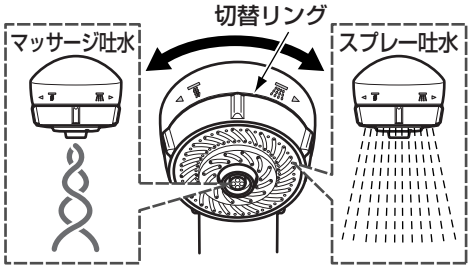
TOTOホームページ http://www.toto.co.jp/

各部のなまえ



使いかた

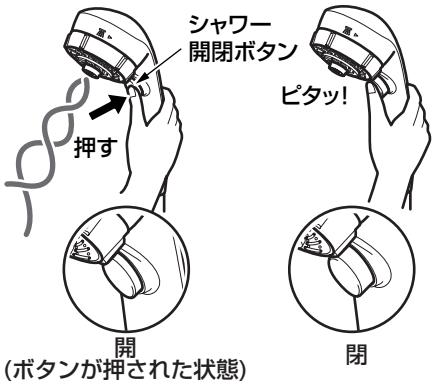
吐水の切り替え



切替リングを回す。

マッサージ吐水、**スプレー吐水**の2つに切り替えられます。

一時止水の仕方 (クリックタイプの場合)



シャワー開閉ボタンを押す。

シャワーを一時的に止めることができます。

※シャワー開閉ボタンはゆっくり操作してください。
※使用後は、必ずシャワーから水を出した状態にして水栓の切替ハンドルで水を止めてください。

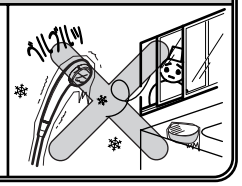
凍結予防の仕方 (凍結が予想される場所でご使用になる場合)

⚠ 注 意

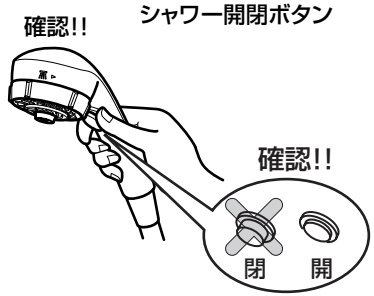
必ず実行

凍結が予想される場所で使用する場合は、凍結予防を確実に行う

部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



◎シャワーが凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。
◎凍結のおそれがある場合は、シャワー周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は、次の処置を実施してください。



1. クリックタイプ
   シャワー開閉ボタンを“開”の状態にしてホースの水を抜く。
2. シャワーヘッドを水が出なくなるまで振る。
3. 床に置く。

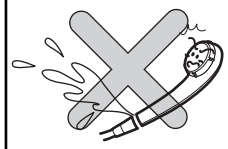
フィルターのお手入れ

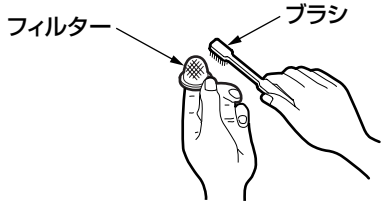
⚠ 警 告

必ず実行

フィルターの掃除をする際は、水栓本体の開閉ハンドルを閉めてから行う

高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。





フィルターが詰まると流量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。時々シャワーヘッドを外してフィルターを掃除してください。

再生紙を使用しています。